



「眠れぬ夜(部分)」奥村隆行
詳細は裏面 >>

今月の Leading company 障がい者雇用の先進企業紹介



総務部次長の中島さん

創業85年を迎える株式会社水明館は、下呂温泉を代表する老舗旅館。老舗でありながら、旅館ホテル業界の中ではいち早く厚生労働省の運動型健康増進施設に認可されるなど、先進的な取組にも積極的です。障がい者雇用にも早くから目を向け、現在は全社員数二四〇名のうち6名が障がい者。調理や室内清掃などの現場でそれぞれの力を発揮しています。

お話をうかがったのは、障がい者雇用を担当する総務部次長の中島さん。障がい者の雇用実績は10年以上になる同社では、現在、身体障がい者の方が中心に仕事に励んでいます。「身体障がい者の方には健常者の方と同じように働いていただいています。健常者以上にがんばっている方や元気な方もいらっしゃいますよ」と中島さん。

下呂を代表する老舗旅館
10年超のベテラン障がい者も

支援機関との連携こそが、障がい者雇用のカギ

株式会社 水明館 下呂市 障がい者雇用数6名

「ぶりずむ」とは、飛騨地域の障害者就業・生活支援センターです。企業と障がい者の両者を総合的に支援しています。「ぶりずむさんに相談したことをきっかけに障がい者雇用の支援機関を利用するようになりました。今では最初の彼に感謝しています。結果的には上手くいきませんでした。支援機関を知ることができました。」

(裏面へ続く)

しかし、初めての障がい者雇用では、その難しさに直面したと言います。「初めは、考え方に甘い部分もあったのだと思います。精神障がいのある方を採用しましたが、なかなか現場とうまくいかず、本人の意志もあって試用期間後に退職されてしまったんです。私たちもどう対応して良いか分からず、難しいものだなと感じました。当時は支援機関を知らず、社内に対応することしかできませんでした。やっぱりいきなりは無理だなと思った時にぶりずむさんの存在を知ったんです。」

障がい者雇用の壁に直面して
知ることができた支援機関



創業85年を迎え下呂温泉を代表する老舗旅館
障がい者雇用などの取組にも積極的



Bさんについて中島さんは「かなり成長してます。元々頭はいいので、いろんな事も1人でできるようになってきています」と高く評価している

雇用する側、される側 支援機関は、双方の支えに

その後同社は、障がい者雇用イベントへの積極的な参加や、特別支援学校からの職場体験の受け入れも開始しました。その結果として、身体と知的の重複障がいがあるAさんや、最近では特別支援学校からの実習を経たBさんを採用できました。

「Bさんが入社する際は、障がい者の新卒採用が初めてだったこともあり、ぶりずむさんにはいろいろと相談のついでにいただきました。担当の先生やご両親とも何度が懇談しながら、事前準備の大切さを学びました。また何か問題があったとき、どう注意したら良いかなども指導していただきました。支援機関は雇用する側の助けになるだけでなく、雇用される側の心の大きな支えにもなっていると感じます。両者にとって、とても心強い存在ですね」

さまざまな障がい者の採用で より進歩した、雇用への考え方

こうしたさまざまな障がい者の雇用経験は、同社の障がい者雇用への考え方の変化にもつながっているようです。

「以前は、障がいのある方も健常者と全く同じように働いていただくことが理想でした。しかしそれは簡単ではないし、さまざまな障がいの方がいます。企業の社会的責任を果たすためにも、障がいのある方がそれぞれの個性に合った力を発揮していただける職種をつくり出したり、障がいがあっても働きやすい環境づくりをすることが、私たちが取り組んでいかなければならない重要な課題だと感じています。」

また下呂を代表する旅館として、障がい者雇用を推進していく責務があると弊社の代表は考えています。それには、社員自身が考え方を考える必要があると思います。今後、障がい者雇用を考える企業の方には、まずは特別支援学校や支援機関と、しっかり連携を取りながら挑戦することをおすすめしたいです。一つずつ他機関との関係を築き上げていくことが大切だと思います。「老舗旅館という看板を支えているのは、こうした他機関との連携や取り組みのよさです。」



プレッシャーをかけすぎない一方で「言うべきことは言いますよ」と中島さん

SCHEDULE スケジュール

情報交換会×ジョブミーティング (恵那市)

求職者だけでなく将来就職を考える方に企業を知ってもらうための就職相談会と、情報交換会。今後の採用に向け、就労支援のネットワークを築くことができる貴重な機会です。

12/6(水) 10:00~16:30 恵那文化センター(中央公民館)

はたらく障がい者の交流会 (恵那市)

障がい者が、仲間とともに仕事について話しあう交流会。面接の悩みや、自分らしく働く方法について考えます。

12/16(土) 13:30~15:30 恵那文化センター(中央公民館)

※スケジュールは変更になる事があります。

Art & Handicapped

「眠れぬ夜」
奥村 隆行



表紙では、毎月障がいのある方の作品を紹介しています。今月の作者-奥村隆行さん(岐阜市)は、病で右半身マヒの後遺症が残って以来、12年間リハビリを兼ねて左手で絵を描き、展覧会開催など精力的に制作を続けています。

ぎふ清流文化プラザ gifuseiryu-bunkaplaza 文化芸術県民ギャラリー

第3回 とともに、つくる、つたえる、かなえる展

11/19(日)~12/24(日)9:00~17:00

障がいがありながらも表現活動をしている方と県内アーティストのコラボレーション展です。

問合せ先 公益財団法人 岐阜県教育文化財団

TEL: 058-233-8164 FAX: 058-233-5811

<http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/plaza/gallery.html>



岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

- ・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「OKBふれあい会館」下車
- ・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00(祝日・年末年始は除く)



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaiigyoshien.jp

URL <http://www.shougaiigyoshien.jp>